

〔質問〕 沖本

議長のお許しをいただきましたので、通告に従いまして一般質問を行います。

今回の一般質問は大項目として、（仮称）次期総合計画の策定について、細目として、1、座間市市政運営指針（素案）の認識と評価について、2、（仮称）次期総合計画策定を含めた政策、施策の織り込みの考え方やスケジュール（計画）について、3、市長の所信表明の（仮称）次期総合計画に係る発言について伺ってまいります。

先日の定例会初日において、市長の所信表明の中では、第五次総合計画と呼称されていましたが、ここではあくまでも次期総合計画と呼称させていただきます。

本市では、令和3年度及び令和4年度の市の最上位計画とする、座間市市政運営指針（素案）を作成しました。現行の第四次総合計画は、令和2年度に最終年度を迎えますが、遠藤三紀夫前市長が市長選を控えていたことから、更新作業の延期を表明され、次期総合計画の開始時期を令和5年度にずらし、その間の空白期において、間断なく着実な行政運営をする必要性に鑑み、第四次総合計画を基本とした座間市市政運営指針を策定することになっています。

現状と課題、それに対する目指す姿と施策方針、遠藤三紀夫前市長が描いた最上位計画の素案であります。今後、この素案は佐藤弥斗新市長の下で、原案化されるわけですが、今現在、佐藤弥斗新市長としてはこの市政運営指針（素案）について、どのような認識、評価をしておられるのか伺います。

また、今後、原案化される市政運営指針や次期総合計画策定の中で、ご自身の政策、施策をどのように織り込まれるつもりなのか、その考え方について伺います。

さらには、そのスケジュール、計画について伺います。

先日、議案第94号、座間市総合計画策定条例について、私の総括質疑に対して、市長は、「今後開始します次期総合計画基本構想の策定作業に当たっては、総合計画審議会に限らず、地区別懇談会など多様な手法を用いて、市民の声をお聞きしながら、その策定過程や策定段階を明確にお示しし、令和4年の第3回定例会への議案提出を目指して取り組んでいきたいと考えております」と答弁されていますが、ここでは、ご自身の政策や施策を織り込まれるタイミングについて伺います。

また、市長の所信表明では、次期総合計画に関わる発言として、「市政運営の基本姿勢として、総合計画に掲げる目標や理念を全市民、団体、企業などと共有できる創意工夫を凝らしめます」と述べられたり、「次期総合計画を策定し、行政と市民の皆様との意識の共有化を図る」と述べられたりしています。全市民、団体、企業などと共有できる創意工夫、行政と市民の皆さんとの意識の共有化を図る、こうした取組について、市政運営指針含め、現時点ではどのように共有化を図ろうと考えておられるのか、その手法について市長のご所見を求め、1回目の質問を終わりますという予定でしたが、こうした一般質問の原稿を作成していた矢先の先週末、11月27日、市のホームページに（仮称）第五次座間市総合計画策定支援業務委託に係るプロポーザルと（仮称）第五次座間市総合計画策定方針（案）にご意見をということが登録され、（仮称）第五次座間市総合計画策定方針（案）が既に作成されていることを知りました。この総合計画策定方針（案）では、策定の趣旨や基本的な考え方、策定スケジュールについてまで明らかにされており、答弁に匹敵する記述もあろうかと思いますが、私の質問の趣旨をお酌み取りいただき、答弁をいただきたいと存じます。

以上で1回目の質問を終わります。（拍手）

## 〔答弁〕市長

沖本浩二議員より質問をいただきました。次期総合計画の策定について、何点かご質問をいただきました。

初めに、座間市市政運営指針（素案）についての認識と評価であります。先ほど質問の中でも触れていただきましたとおり、同指針は、現行の第四次座間市総合計画を基本として、令和3年度及び令和4年度の行政経営についてお示しをするものでございます。私自身、市長に就任する前は、以前は市議会議員としての立場で市政に携わり、また、この第四次総合計画は協働ということを前面に出され、様々な意見集約などを踏まえて、現総合計画で目指すまちの姿や次期総合計画を市長の任期に合わせて、令和5年度から開始し、その計画期間も8年にするという、遠藤前市長のお示しされた考え方に賛同をいたしておりますので、同指針に基づき、まちづくりを進めていく所存でございます。

次に、私の政策や施策を次期総合計画にどのように織り込んでいくのかということについてですが、既に私の市政運営に対する方針は、所信表明や日々の業務の中で職員には伝えているところでございます。そういった中で、質問の中でも、策定のスケジュールもホームページのほうでも公開をさせていただいておりますが、令和3年の3月頃から、策定方針の策定や基本構想骨子の策定などに取りかかり、また、令和3年5月頃、春頃から地区別懇談会など、様々な手法で市民意見を反映させていこうと考えております。

そういった中で、私の政策や施策については織り込んでいきたいと考えております。先ほども申し上げましたとおり、座間市市政運営指針は、現総合計画を基本とした指針ですので、その中で取り組めるものを模索してまいりたいと考えております。また、令和5年度に開始を予定している次期総合計画は、策定過程で多様な市民参加の機会を設け、市民の皆様の声も多く聞き、私自身の考えと併せながら、政策、施策を織り込んでいきたいと考えております。そして、次期総合計画の骨子を策定する段階で、私自身の政策、施策を織り込んだものをお示ししたいと考えております。

次に、市民の皆様との意見の共有化についてでございますが、私の所信表明でも述べさせていただきましたが、今後の市政運営や次期総合計画の策定に当たりましては、協働から一歩進めた、共に創るという共創という考え方に進化をさせ、住みやすい座間、働きやすい座間、学びやすい座間の実現に向けた政策を掲げて取り組みますので、市民の皆様と行政が意識の共有化を図ることは必要不可欠であると考えております。そのため全市民・団体・企業の皆様が主体的に市政に参加をしていただくことが大切であると考えておりますので、まずは市政に興味を持っていただくきっかけとして、効果的な情報発信を行うことやタウンミーティングの開催など、市政に関わり、それぞれの立場で意見を交わす機会を増やすことにより、意識の共有化を図っていきたいと考えております。分かりやすい表現をする工夫や、市民生活の中で次期総合計画の政策や施策を感じ取れるような工夫が大切だと考えております。以上でございます。

## 〔質問〕沖本

それでは、いただいた答弁に対して再質問を行ってまいりたいと思います。

まず、市政運営指針、この素案についてどのような認識を、評価をしているかという質問をさせていただきましたけれども、前市長、遠藤市長の出されている、この素案に対して賛同なされているというご答弁をいただきました。

その上で、今後、ご自身の政策、施策をどのように織り込まれるのか、また、そのタイミングについても伺いましたけれども、答弁では、仮称でありますけれども、「第五次座間市総合計画の策定段

階、基本構想の段階のあたりで新市長としての政策、施策というのを織り込まれる」という答弁だったと思います。それでいうと、では、市政運営指針、今、素案ですから、原案化されると思うのですけれども、改めてお聞きしたいと思いますけれども、その指針の中にはご自身の政策、施策というものは織り込まれないということだと思えるのですけれども、例えば、これは前任者もおっしゃっていましたけれども、佐藤市長のホームページにある政策、家庭代表「やさしい」座間へ、子育てに「やさしい」座間へ、県内ワースト保育園待機児童の解消へについては、恐らくこの素案の中の市政運営指針、この9に当たりますね、「保育対策、目指す姿、本市の子育て世代は、就労形態や所得の違いに左右されず、安心して子どもを預けられる環境を享受しています」とあり、まちづくり指針、単位としては保育所待機児童数、第四次座間市総合計画最新値は平成30年66人、目標値は令和2年でゼロ人ということにしている。市政運営指針の目標値、令和4年ですけれども、これも当然ゼロ人ということになっています。こちらについては、遠藤前市長としても当局としても、既に考えられている目指す姿であり、佐藤新市長としてもこれに追従されるというお考えだと思っております。

そして、施策方針では、「①保育園の定員を増やすとともに、保育ニーズに対応した保育内容の充実に努めます、②私立保育園への支援など適正な保育体制の整備に努めます、③私立保育園との連携により、保育サービスの充実に努めます、④保育を必要とする児童や地域の児童の健全な育成に努めます」こうあるわけですけれども、こうした施策方針に関してはいかがでしょうか。自ら考えられているような、現時点で結構ですよ、もちろん、新しい施策を何か投入していこうという考えがおありなのか、現時点で結構です、あればお示しいただければと思います。

また、市長の政策である子育てに「やさしい」座間へ、これも前任者がおっしゃっていたかと思うのですけれども、温かくて、美味しい中学校給食の実施へについては、これ、市政運営指針（素案）、これ、「26の学校保健の目指す姿、本市の児童・生徒は各種健康診断の実施により、自己の健康状態を把握し、健康生活への改善に生かすことや安全・安心で栄養バランスの取れたおいしい給食により、健康を増進し、衛生的な環境の下、心身ともに健康的な学校生活を送っています」とあります。ここでは、まちづくり指針は割愛させていただきますけれども、佐藤市長は所信表明で、今後の公共施設再整備計画の検討の中で、中学校の完全給食実現、これは途中で全員喫食に言い換えられて、「それを目指して取組を進めていきたいと考えています」とおっしゃっていました。佐藤市長の政策である、温かくて、美味しい中学校給食の実施へということからは、恐らく自校式給食など、そういったことをにらんだ全員喫食を考えられているのかなと思います。

だとすれば、この施策方針、③給食施設・設備の充実に努めます、ではなく、別の表現に改められるのか、そうした考えを新たに示されるのか、このタイミングが本来であれば急務であると考えられるわけで、できれば市政運営指針、これから原案化される計画なので、その時点で入れるべきではないかなと私は考えますけれども、その辺はいかがでしょう。そこをお伺いをさせていただきます。

それから、共有化の部分なのですが、情報発信、興味を持ってもらうという意味では確かにそういう考えでよろしいかとは思いますが、それでは、恐らく現時点、今までのやり方とそんなに変わらないと思っています。であるならば、創意工夫という点で、どういった新しい方法を考えられているのかなということでお聞きをしたのですけれども、それが実施できるかできないかは別として、そうした考えをお持ちなのか、改めてお聞きをしたいと思います。

それで、この際なので、最後に意見、要望として述べさせていただきますけれども、1回目の質問でも申しあげました。11月27日の市のホームページ、第五次座間市総合計画策定支援事業業務委託に係るプロポーザルと（仮称）第五次座間市総合計画策定方針（案）にご意見を、こういう記事が登録

されております。先ほども申し上げましたけれども、私、このとき初めて、この策定方針（案）が作成されたことを知りました。これ、26日の定例会開会日の次の日です。ご承知のとおり、26日の13時までには、我々議員は一般質問の発言通告書を提出しなければなりません。よって、27日に明らかにされた、この、仮称ではありますけれども、第五次座間市総合計画策定方針（案）、これを主題にした質問をすることはできません。策定方針（案）についての質問は3月議会になってしまうわけです。それは遅いのですね、やはり。

今回、この時期、総合計画に係る一般質問をすることを通告した私からすれば、大変残念で仕方ありません。市政に関わる大事な総合計画策定方針（案）がなぜ定例会初日の次の日に突如明らかにされるのか。市長として、26日の定例会本会議の午前中の所信表明で、第五次総合計画と呼称され、触れられているわけですから、その気になれば、その中で明日、第五次座間市総合計画策定方針（案）をお示しできる予定ですとか、そうしたことを述べていただくことも可能だったのではないのでしょうか。所信表明では、「座間市長として透明性の高い情報公開に取り組みます、意識の共有化を図っていきたくて考えています」とおっしゃっておられます。ぜひ、今後は市政に関わる大事な方針（案）などを、定例会初日の1日遅れで明らかにすることがないように、切にお願いを申し上げ、これはあくまでも意見・要望でございますので、答弁は結構です。よろしくお願ひし、以上で2回目の質問と意見・要望を終わります。

#### 〔答弁〕市長

沖本議員より再質問をいただきました。

市政運営指針に、私の考え方を織り込むべきだったのではないかといったご意見だったかと思えます。ご意見はご意見として受け止めさせていただきますが、この市政運営指針を策定するに当たっては、第四次総合計画を基本として策定がなされているわけでございます。そういった中で、市長が替わり、私の考え方、政策といったものをすぐに実行できるものと、やはり時間をかけて担当ともしっかりと協議をしながら進めていかななくてはならないことなどもございます。そういった部分で、例示をしていただきました、例えば学校の給食の関係などに関しましては、やはり教育委員会ともしっかり協議を進めていかななくてはならない状況でございますし、公共施設再整備計画の中で、市内の公共施設の全体的な在り方という部分も含めて考えていかななくてはならない、そういった課題だと認識をしておりますので、この運営指針に盛り込んでいくということは、なかなかその1点だけを入れるにしても、様々な影響もございますので、なかなかここが厳しい状況であったということをご理解をいただければと思っております。

また、情報を共有化する取組についてでございますが、このたびの一般質問でも多くの議員からご質問いただいているところでございますが、例えばであります、地域再生計画といったものは行政のみではなく、地域の団体や企業などと共につくり上げていく計画ということになっております。もちろん地域の中の団体、企業などの自主的な活動、そういったものも含まれておりますので、例えば地域再生計画といったものを進める中で、課題の共有化、そして、それに向けてどのように取組をするかといったことを話し合うことで、今、座間市が抱えている課題、そして、これからどういったことを目指して、市の職員が一丸となって進んでいこうとしているのか、そういったものを市民の皆さん、そして、市内の団体の皆さんや、そして、企業の皆さんと共有化を図ることができると考えておりますので、そういった手法、様々な手法を組み合わせながら、これからの次期総合計画を多くの方々と共有ができるように取り組んでいきたいと考えております。

なかなか総合計画、市議会議員は総合計画というものに沿って市政運営がされているということ、よく認識をしているわけですが、なかなか市民の方々というのは総合計画ということもご存じな方は多くはないと感じております。そして、市の職員がそういったことに一生懸命取り組んでいるという、そういった姿もなかなか市民生活のレベルの中で考えたときには見えてこないという部分もございますので、市がどのような目標を掲げて進んでいるのかということ、やはりしっかりと共有していくことが大切だと考えておりますし、それに向けての手法は、一例で申しましたが、地域再生計画ですとか、分かりやすい情報発信をしていく、どのように市民の皆さん、企業の皆さんを巻き込んでいくかということにかかっていると考えております。

また、議員の皆様方からもそういったことに対する取組で、積極的な、建設的なご意見などもいただけたら、随時、検討をしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

#### 〔質問〕 沖本

ご答弁いただきました。市民に限らず、多くの方々に丁寧な説明をしながら、この総合計画というものを理解していただきながら、そして、中にある政策もご理解いただき、あるいはパブリックコメントとか、これから、地区別懇談会などありますよね、そうした中で意見を取り入れていくという、そうした答弁だったと思うのですが、こだわるところではないのですが、やはり市長がこの市長選、選挙公約として出された様々な施策、今もホームページに市長の政策として掲載されているわけですので、市民の皆さんは本当にそれを期待されていると思っているのですね。できるだけ早く、そうしたことをこの総合計画、先ほどは方針のほうにはなかなか期間的には難しいだろうということで、それは理解を示すわけですが、第五次、この総合計画の策定の中で、地区別懇談会の前にでも、そういった考え方を示しながら、そして、市民の方の意見も聞きながら、それができる、できないはまずは置いて、そのよしあし、そういったところもぜひ検討いただき、骨子案の策定、それから、その骨子案に対するパブリックコメントも当然やられるわけですから、そういったところはしっかりとお示しいただければと思いますけれども、改めて、そうしたところでの自らの政策、施策というものを、しっかりと乗せていかれるのかどうかを改めてお伺いし、再々質問とします。

#### 〔答弁〕 市長

再々質問をいただきました。私が公約で掲げていたものに対して、どのように実行していくのか、どのように次期総合計画に織り込んでいくのかということだと思います。

私が公約で掲げていた内容は、市民の皆様からのご意見、ご要望を踏まえた上で掲げさせていただいたものでございます。その内容について、どのように実行していくか、どのようにしたら実行できるのかということ、しっかりと検証しながら、また、この次期総合計画の中で私が掲げていた政策については、策定の過程で織り込んでいけるようにしていきたいと考えております。

また、もちろん今までも行ってきたタウンミーティングですとか地区別懇談会といったものを今までも総合計画策定の際には行っていただいておりますが、それに加えて、やはり今市が抱えている課題というものは、行政だけでは本当に解決することが難しい、多種多様にわたっておりますし、地域の中では地域コミュニティが自治会の加入率も大変低くなっている中で、地域福祉等、どのように支え合う社会をつくっていったらよいかといった課題なども含まれております。それは、この議場でも議員の皆様からいただいている、それぞれの課題というのが、まさに今、座間市が抱えている課題

だと考えております。それを解決するためには、行政のみの力ではなく、市民の皆さん、団体の皆さん、そして、企業の皆さんの力が必要でございますし、それこそがSDGs、持続可能な社会をつくり上げていくことだと考えております。

そういったものを、今までSDGsに関して、本市としてどのように取組をしていくかということを検討してきたわけではございませんので、この今回の次期総合計画策定の中に、どのように市民の皆さん、企業の皆さんに力を貸していただくような計画を立てていくのかということ、しっかりと検証しながら、次期の総合計画をつくり上げていきたいと考えております。

そういう計画をつくり上げる、それはつくり上げていく中で問題も課題も共有化され、また、それに向けての目標も共有化されると考えております。以上でございます。